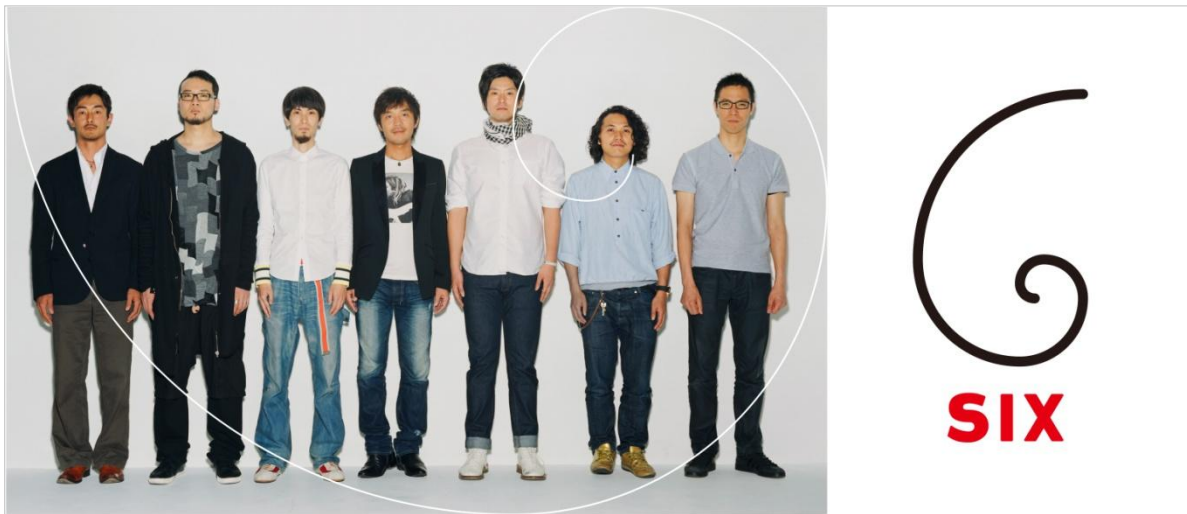


News

2013年6月6日

博報堂、次世代型クリエイティブエージェンシー「株式会社SIX」を設立

国際的広告賞デジタル部門で数多くの受賞歴を持つクリエイター6人が
デジタル領域とマス領域、商品・サービス開発領域までを融合させた新しい価値創造を牽引



株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）は、デジタル領域へ強みを持つ社内クリエイターたちにより、デジタル領域やマス領域などの区分をこえた次世代型クリエイティブを開発する新会社「株式会社SIX」（以下「SIX」）を設立し、本日6月6日より営業を開始いたします。

URL：<http://sixinc.jp/>

近年、広告コミュニケーションの開発において、マス領域とデジタル領域の区分を超えたクリエイティブ・ソリューションが強く求められています。

新会社「SIX」は、デジタル領域まで統合的にクリエイティブできる強みを基点に、ブランドとユーザーの新たな絆をつくる「クリエイティブエンゲージメントエージェンシー」として、既存の手法にとらわれない新しいコミュニケーションや、コンテンツ、商品・サービスの開発を行います。

「SIX」は、博報堂のクリエイターである野添剛士（代表取締役社長）、大八木翼、本山敬一、坪井卓、齊藤迅、日野貴行の6名と、ビジネスプロデューサーとで発足します。各メンバーは、世界最大の広告賞「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル」などの国内外広告賞のデジタル関連部門において、数多くの受賞歴を有しています。

博報堂グループは近年、「Gunn Report 2012」のエージェンシーランキング1位^{※1}の獲得や、アジア太平洋広告祭での「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」^{※2}を2年連続受賞するなど、デジタル領域で活躍するエージェンシーとして、国際的に高い評価[※]を受けています。

「SIX」設立メンバーの活躍が、これらの評価を大きく牽引してきたことは間違いありません。

※博報堂グループのデジタル部門での国際的評価

※1 2013年2月、「Gunn Report 2012」において、博報堂グループは、デジタル領域で活躍したエージェンシーのランキングである「The Most Awarded Agency in the World」で1位を獲得しました。本カテゴリーで日本のエージェンシーが頂点に立つのは初めての快挙でした。

※2 2013年3月、アジア太平洋地区で最も権威ある広告祭である「第16回 ADFEST (アジア太平洋広告祭)」において、博報堂は前年に引き続き2年連続「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」受賞の栄誉に輝きました。

「SIX」は博報堂の独立子会社という形をとることで、この領域に不可欠な柔軟性とスピードを確保、これまで以上に先進的なソリューションを得意先企業とユーザーに提供していくことを目指します。

今後は、博報堂グループ全体との強力な連携をはかりながら、国内外のデジタル系新興企業とのコラボレーションも視野に入れ、デジタル・クリエイティブ業界全体の活性化にも貢献していきたいと考えます。

「SIX」のメンバーは、6月下旬に開かれるカンヌ国際クリエイティビティフェスティバルに参加する予定です。また、本年10月には港区青山に新オフィスをオープンする計画です。

野添剛士代表取締役社長のコメント

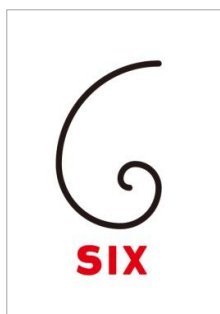
「日本のクリエイティブは、世界でも認められる高いクオリティを持っていると思います。SIXは、日本のクリエイティブの才能たちや、ブランドとのパートナーシップのもと、マス領域やデジタル領域といった区分を超えた大きなアイデアを次々と世の中に発信していくハブとなることを目指します。」

<以下、参考資料>

◆「株式会社SIX」会社概要

- ・社名：株式会社SIX
- ・本社所在地：〒107-6310 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー
※2013年10月に新オフィスオープン予定（港区青山）
- ・資本金：90,000千円（博報堂100%出資）
- ・役員：代表取締役社長 野添剛士（博報堂より出向）
- ・従業員数：8名
- ・設立日：2013年4月1日
- ・営業開始日：2013年6月6日

◆コーポレートロゴ制作者：Storm Studios & Peter Curzon



◆WEBサイト（日本語／英語）

<http://sixinc.jp/>

◆「SIX」設立メンバーのプロフィールと代表作



野添剛士 Takeshi Nozoe
Creative Director / CEO

For the BrandとFor the Peopleの複眼で、マスメディアでのブランディングから、ソーシャル、体験デザインまで統合的にデザインしていくのが特徴。見かけによらず茶道をたしなみ、好きな言葉は「和敬清寂(わけいせいじゃく)」の元高校球児。Cannes Lions2013 審査員。

主な仕事：SPACE BALLOON PROJECT、JIM BEAM、Kiss a ZIMA
受賞：2011年度クリエイター・オブ・ザ・イヤーメダリスト、文化庁メディア芸術祭グランプリ、Cannes Lions Bronze 他



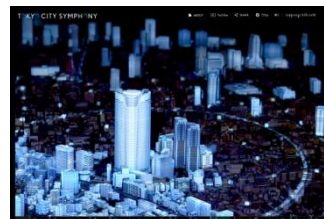
『SPACE BALLOON PROJECT』
SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN / GALAXY



大八木翼 Tsubasa Oyagi
Creative Director / Interactive Creative Director

“広告とは、ひとつひとつをつなぎ、世界を良き方向へと向かわせる、最大のメディア・アートである”という考えのもと、表現における自分なりのソーシャルグッドを探し求める。夢は、ボリス・ヴィアンのカクテルピアノのような装置をつくること。

主な仕事：TOKYO CITY SYMPHONY、ALL IS NOT LOST、SPACEBALLOON PROJECT
受賞：Cannes Lions Gold、文化庁メディア芸術祭グランプリ、TCC新人賞 他



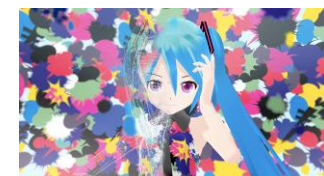
『TOKYO CITY SYMPHONY』
Mori Building / Roppongi Hills



本山 敬一 Keiichi Motoyama
Creative Director / Interactive Creative Director

“A fusion of Technology with Humanity”をテーマに、人の心に残る体験をつくるべくあれこれ試行錯誤中。『ニア レプリカント』の4周年が、ここ数年のベストインタラクティブ。好きなジャグリングはボーイ、得意なムーブメントは5 Beat Weave。

主な仕事：Google Chrome 初音ミク、Google Maps 8-bit、Cam with me
受賞：Cannes Lions Silver、TIAA Gold、LIA Gold、Adfest GrandPrix、Adstars Grand Prix 他



『Google Chrome Hatsune Miku』
(C)Crypton Future Media INC.
Google Japan / Chrome



坪井卓 Taku Tsuboi
Creative Director / Copy Writer

魅力のある人やブランドには一種のネオテニー（幼児性）がある。ヤンチャ、夢想家、バカ正直、魅力的な企業や商品たちを応援して世の中を面白くしていきたい。また、マンガ好きなのでマンガの普及も自らのテーマ。バイブルはJOJOとCAPETA。

主な仕事：SOCIAL KINGDOM、Zoff、HABANERO HAZURE-CAMPAIGN
受賞：Cannes Lions Gold、D&AD Yellow Pencil、Adfest Gold、TCC賞、他



『JOJO 25th Anniversary Project』
SHUEISHA / JOJO



斉藤 迅 Jin Saito
Creative Director / Music campaign director

広告の枠をとっばらい、商品やサービス開発、最近では音楽を中心としたブランドドエンターテインメントキャンペーンを得意とする。また、ギタリストとして横浜のアーバン&メロウなレーベル、PPPことPAN PACIFIC PLAYAに所属。

主な仕事：SMASH、Google Chrome 初音ミク、キョロちゃんズ
受賞：Cannes Lions Gold、ADFEST Innova Grand-prix 他



『SMASH』
K's Japan / SMASH



日野貴行 Takayuki Hino
Creative Director / Interactive Creative Director

デジタル起点のほっこりエンゲージメントを得意とする。身長・体重はダルシムと同じ。ネコをこよなく愛し、ネコ関係の仕事を待ち続けているが未だオファーなし。息子の名前はほたろう。ほっとするから、ほたろう。

主な仕事：Google Puzzle、みらいサーチ、ふかふかふかのうた
受賞：Cannes Lions Gold、One Show Gold、TIAA Gold、TCC賞 他



『Google Puzzle』
Google Japan / Chrome

◆「株式会社SIX」のミッション

SIX はブランドとユーザーとの新たな絆をつくるクリエイティブエンゲージメントエージェンシーです。

メディアや社会構造が急速に変わり続ける中、ブランドは常に時代とのズレを抱えています。

過去の広告話法にとらわれずシェアされるコンテンツやサービスを開発、あるいはまったく新しい何かを発明することでブランドが時代と同期し [Sync]、ユーザーをファン化し [Ignite]、次のステージへと旅立つための [Explore]、成長ビジョンを描きます。

報道関係者様からのお問合せ先：博報堂 広報室 山野・尾高・西本（TEL：03-6441-6161）

株式会社SIX 連絡先（TEL：03-6441-9788）